

分蜂（巣別れ）～ミツバチの引っ越し～

春になり暖かくなるとミツバチが活動を始めます。

基本的にミツバチはおとなしいので、こちらから手を出さなければ、刺すことはほとんどありません。

スズメバチやアシナガバチは寒くなると死んでしまいますが、ミツバチはすべてのハチが越冬すると言われています。



<ミツバチの分蜂とは>

ミツバチの巣は1匹の女王バチと、多くの働きバチで成り立っています。

働きバチが増えて、使っている巣が手狭になると、新しい女王バチが誕生します。ひとつの巣に2匹の女王バチがいることは出来ないため、もともとの女王バチは働きバチの半分を連れて、新しい巣を作るために新天地を求めて巣から飛び立ちます。

もともとの女王バチと一緒に飛びたった働きバチは、新しい営巣場所を見つけるまでの間、樹木などに密集して女王バチを外敵から守ります（下の写真のような状態）。とどまる期間は、短ければ数時間、長くても数日間です。

分蜂が行われる時期は、春から夏頃で、女王バチが生まれる回数だけ起こります。



木の枝に、ぶら下がっているように見えます。

多数のミツバチが一カ所に集まって、新しい営巣場所が見つかるまで待機します。



<分蜂を見つけたときは>

ミツバチが集団で飛んで移動するため、羽音が大きく聞こえて怖く感じると思いますが、近くで大声を出したり騒いだり、面白がって棒でついたりしなければ、向かってくる事はまずありません。

慌てずに騒がずにその場を離れ、そっとしておいてください。数日のうちに移動していきます。

<ミツバチの営巣場所>

ミツバチが巣をつくる場所は樹の穴、屋根裏、床下など、天井があり壁などでおおわれている場所です。巣を作られそうな箱などがあつたら、片付けておくと巣を作られにくくなります。